

会 議 録

会議の名称	令和5年度 第2回茨木市立三島中学校 学校運営協議会
開催日時	令和5年10月31日（火） （午前・ <u>午後</u> ） 14 時 30 分 開会 （午前・ <u>午後</u> ） 16 時 30 分 閉会
開催場所	茨木市立三島中学校 2階会議室・研究授業参観
出席者数	4 人
欠席者数	5 人
開催形態	<u>公開</u> ／非公開
議題（案件）	(1) 本校の授業参観からの見取りと生徒状況について (2) 教育活動の今後について
配布資料	(1) 学校通信、研究授業指導案

議 事 の 経 過

議 題（案 件） ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項

(1) 本校の授業参観からの見取りと生徒状況について

- ・授業については、子どもたち主体の取り組みになるようなアンケートや地域取材、まとめや発表など、よくできていたという言葉があった。
- ・このあと、この授業後、どのようにつなげていくのかが大事である。展開していく中で、問い返しをしながら考えをじっくり深めるようにしていく。そのためには、教職員のとらえが大切であると考え。なげかける言葉（ナビゲーター側の感性や深さが関係する）が大切であること、教材を絞ることも一つの方法であることなどが、意見としてあった。
- ・この防災を、目先のことだけにとどまらず、どう生きていくことがよりよくしていくことなのか、現在のウクライナやイスラエルの被災したことに結びつけて考えられるように気づかす問いかけがあることも大切であるとの言葉があった。
- ・生徒状況については、気兼ねなく自由な関わりがあること、今思ったことをそのまま言い合える関係ができていて、それができるのは受け止める側が否定がなく、受容があること、発言ができにくい子にも同じ班員が声かけする関わりが自然とできていることなど、普段の取り組みや集団としての育成があった上で個々の生徒がのびのびと成長していることにつながっているという評価をいただいた。

(2) 教育活動の今後について

- ・改めて、『出会い』の大切さをしみじみと感じる。実際に体験した方の言葉との『出会い』、現地へ取材に行つて、そこで暮らす方との『出会い』、そんな出会いをこれからも大切にしていける教育活動を展開する。教育の素晴らしさと責任を深く感じる『出会い』があった。子どもたちと先生たちとともに、様々なことでよりよくなる一歩を行動していくことができるように、教育活動をすすめていく旨を伝えた。

以上